

市民エキストラ通信

発行：和歌山市 観光課 発行日：平成22年3月11日
〒640-8511 和歌山市七番丁23番地
TEL：073-435-1234 FAX：073-435-1263
E-mail kanko@city.wakayama.lg.jp
http://www.city.wakayama.wakayama.jp/fc/index.htm

VOL.7

宝塚歌劇団 雪組娘役トップスター 愛原実花さん友ヶ島来島



▲愛原実花さん



▲友ヶ島第2砲台跡付近



▲タカノス山展望台

宝塚歌劇団 雪組娘役トップスター愛原実花さんが9月3日、友ヶ島に番組収録のため来島されました。その番組は「TAKARAZUKA旅美写真美」。女流写真家と旅先の風景を背景にしてスターの魅力を写真におさめる旅番組です。こちらに依頼のあったのは、島内を案内するガイドさんの手配などで、和歌山市語り部クラブ所属の西山智雄さんと一緒に島内を巡ります。まだ暑さが残る初秋の友ヶ島。愛原さんは暑くても汗もかかずに涼しい佇まいで、女優然とされています。愛原さんの周りには、避暑地に来たような錯覚を覚えますが、私自身は汗だく。第二砲台跡や第三砲台跡を巡っていく中で、野生の台湾リスたちがかわいい姿を現したり、孔雀が出てきたり。撮影の様子は、テレビ神奈川、テレビ埼玉など、近畿ではサンテレビ、京都放送、三重テレビで放送されました。その他、CS宝塚歌劇専門チャンネル「タカラヅカ・スカイ・ステージ」で

SMAP

がんばりますっ!!
CHAN TO SHI NAI TO NE!
スペシャル

昨年の年末に和歌山市加太沖の友ヶ島ロケが行われたこの番組の中の「中居正広の壮絶！要塞の島で12時間鬼ごっこ」という企画。去る1月10日、テレビ朝日系列で放送されました。番組をご覧になった方も多いと思いますが、元軍事要塞というロケーションの中、仮面をつけた傭兵が鬼となつて中居くんを執拗に追いかけます。捕まれば罰ゲーム。普段見慣れた友ヶ島の第三砲台跡や兵舎跡を中居くんが必死で逃げる様子にお腹がよじれるほど笑わせていただきました。現場の様子をお伝えする

ため写真撮影をしたかったのですが、島内100箇所にあふ隠しカメラが設置されてしまったので、万一私たちが画面に映り込んでしまふことが台無しになってしまふことから、断念しました。放送を見逃した方は、もし再放送されたらご覧ください。SMAP中居くんそしてスタッフの皆さんお疲れ様でした。

ライオンちゃん 和歌山城に忍び込む

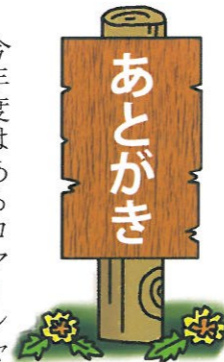
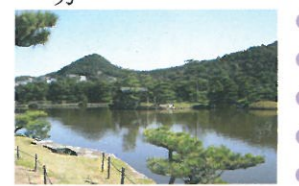
和歌山県民文化会館で昨年10月、「ライオンのごきげんよう」公開収録が行われました。その収録に先だって、番組のオープニング撮影のため、番組キャラクターのライオンちゃんが和歌山城に忍び込みました。ライオンちゃんは、大きいのですが、その俊敏さにはビックリ。オンエアでは和歌山城天守閣からライオンちゃんが、手裏剣を投げる様子がCGで合成されて放送されました。

ロケ地のご案内

- 養翠園・湊御殿(クボタ民謡お国めぐり)
南海和歌山市駅から
雑賀崎行きバスで約40分
JR和歌山駅から雑賀崎行きバスで約30分
「養翠園」停下車すぐ

- 和歌山城
(水戸黄門・ライオンのごきげんよう)
南海和歌山市駅・JR和歌山駅から
バスで約7分「公園前」停下車すぐ

- 友ヶ島(SMAPがんばりますっ!!・TAKARAZUKA旅美写真美)
南海和歌山市駅から加太線乗換え
終点「加太」駅下車徒歩約15分、
友ヶ島汽船にて乗船20分
(友ヶ島汽船は季節により運行状況は
異なります。)



今年度はあるコマシーヤルの撮影で、イタリア人のエキストラの要望がありました。現在エキストラ登録中の方にイタリア人の方の登録はなく、しかも急なお

話でもありましたので、残念ながら要望にお応えすることができませんでした。製作者の方の要望は本当にさまざまだなあ、と思う出来事でした。このエキストラ通信をご覧になって、エキストラにご興味をもたれた方は、和歌山市観光課までご連絡ください。

2月3日21時30分から放送され、以降4回放送予定です。なお、収録後しばらくして愛原実花さんは、宝塚歌劇団の退団を発表されました。今後の更なるご活躍に期待したいところです。

クボタ民謡お国めぐり 養翠園・湊御殿撮影！

昨年の七月上旬、はるばる東北、秋田テレビの方々から民謡番組の撮影に、和歌山にいられました。番組名は「クボタ民謡お国めぐり日本の唄シリーズ」和歌山編。普段は地元秋田県内で撮影されているとのことですが、年に1回地方の民謡ロケを行うということで、今回は和歌山県に来ていただきました。

番組の内容は、和歌山城、紅葉溪庭園、紀州東照宮、紀三井寺、和歌山マリーナシティなどの観光名所を秋田テレビのア



ナウンサーの方が紹介する他、和歌山市内の養翠園・湊御殿で和歌山県民謡連合会の方々による民謡の収録を行いました。養翠園は、NHK大河ドラマ「八代将軍吉宗」のロケ地にもなった紀州徳川家ゆかりの大名庭園で、国の名勝に指定されています。庭園内には、藩主が座る御座の間などを含む養翠亭が現存しています。もう一方の舞台、養翠園の隣にある湊御殿は、紀州藩主のご隠居所としてあつたものを現在の地に移設し

たもので、養翠園、湊御殿ともに、紀州徳川家の威光を彷彿とさせるロケーションとなっております。さて、収録当日早朝の養翠園・湊御殿。スタッフの皆さんは、現場に入り、機材のセッティングや重いセットが養翠園・湊御殿の芝生を傷つけないように合板等で養生するなど、多くの作業をテキパキとこなしていきます。本番では、有名な



『串本節』など、全部で8曲の民謡が収録されました。曲ごとに立ち位置や襖の開け閉めなどを変えるなど工夫を凝らして、同じ場所でも違う雰囲気を出します。さすがプロだなと素人ながらに感心しました。また、収録中、現場周辺から広報車の音や学校のチャイムなどの音が聞こえてくることもしばしば。そんな時は、音がなくなるまでお待ちします。まちなかで撮影するのもなかなか大変なので、2日間様々な苦労の中、

にわたって撮影された和歌山の民謡そして和歌山市内の観光スポットを、きつと東北の方々にも楽しんでいただけたことでしょうか。番組は、秋田など東北6県で放送されました。収録の様子は、秋田テレビのHPでもご覧になれます。皆さんも、一度紀州徳川家ゆかりの養翠園・湊御殿に足を運んでみてください！（放送日：秋田テレビ・青森テレビ・山形テレビ・テレビ岩手・仙台放送・福島中央テレビで昨年8月下旬放送）

水戸黄門 タイトルバック撮影

ご存知、天下の副将軍水戸光圀公が助さん、格さんをお供に全国を漫遊するTBS系列時代劇「水戸黄門」新シリーズ（本年4月12日スタート予定）の漫遊先に和歌山が予定されています。

「水戸黄門」といえば、平成20年2月に里見浩太朗さんが来和され和歌山城内で撮影を実施、同年4月21日に放送されました。その時は残念ながら和歌山城は浜松城という設定となっていました。今回はタイトルバックの映像として和歌山県内の実景を撮影したいとスタッフが昨年11月18日の早朝、京都から来和。天候は、雨がいつ降り出してもおかしくないお天気。

和歌山城、紀三井寺、紀州東照宮、番所庭園、養翠園と撮影箇所を巡りました。時代設定に合わない現代的なものを避けて撮影しないと後々映像を修正する作業が必要になりますが、当のロケ地も周辺のまちなか



▲磯の浦海水浴場にて

よりも、現代的なものが少ないとはいえ、時代劇特有の苦労があるようです。今年1月14日も、タイトルバック撮影の他、磯の浦海水浴場では滅多にそろわないというレギュラー陣が勢揃いで劇中の撮影が行われました。どうぞお楽しみに！



森脇健児さん（タレント）が全国47都道府県のご当地ランナー4700人と

全国を走破する「走る男II」のロケが、環境省が選定する「快水浴場百選海の部特選」の片男波海水浴場で行われました。さて、この日の天気はすっきりしない天候でしたが、ランナー41人が集まり、森脇さんとともに、海沿いを楽しく走りました。参加者には、遠くは旧美山町からの方や和歌山大学の学生さんもいて、世代もバラエティ豊かです。走り始めると、森脇さんが参加者と代わる代わるコミュニケーションをとっていきます。サッカーボールとともにランニングをする人も現れ、森脇さんとパス交換。1時間ほど走った後、小学5年生と同3年生のお子さん連れで参加してくれた市内狐島の女性は、20年来の森脇さんのファンなんです、と感慨深い様子。お子さんたちも、がんばって走ったよ、と笑顔でインタビューに答じてくれました。最後に、ランナーは、森脇さんと一緒に

走った証として、一人ずつスタンプを押して、みんな記念撮影。その時点では、ご当地ランナー1100人のノルマはクリアされず、残り14人をクリアするため、森脇さんは撮影スタッフとともに和歌山大学に向かいました。この放送は、和歌山市内では、BS11で今年1月18日12時から放送されました。番組は、BS11のほか、千葉テレビ放送、テレビ埼玉、テレビ神奈川などで放送中です。

